

ROTARY CONNECTS THE WORLD

ロータリーが世界をつなぐ

2019～20 年度年度

国際ロータリー会長 Mark・D・Maloney



東京麹町ロータリークラブ

本日の例会プログラム

第 13 回例会 2019.11.18 (#2254) 会場:舞の間
例会ホスト・紹介係 地引君 会費係 福田君
受付係 崎山君 荘村君
司会者 井関君 ソングリーダー 中村君

卓話 「公平な税務行政の推進」

麹町税務署々長 一ノ瀬 和人氏
紹介者 後藤会員

前回の報告

第 12 回例会 2019.11.11 (#2253) 会場:麗の間
例会ホスト・紹介係 保科君 会費係 藤田君
受付係 加賀君 地引君
司会者 井関君 ソングリーダー 中村君

IMリハーサル

会長報告

- 1) 本日は、25日に開催されるインターシティーミーティングのリハーサルを行います。皆様のご協力をお願いします。
- 2) 米山奨学生の劉さんが出席です
- 3) 須藤会員へ、米山奨学会より12回目のメジャードナーの感謝状が届いております。
- 4) IMのご家族の登録、2月の地区大会の登録、それぞれ登録料をそえてお申し出ください。地区大会は、先日の首里城の支援をこめて誤登録だけでもよろしく願い致します。

幹事報告

- 1) これからIMのリハーサルを行いますので、宜しくおねがい致します。お気付きの点は、どうぞ仰ってください。
- 2) 今月の福島産直品の配送日は、22日または23日です。ご協力ください。
- 3) 例会終了後に理事会がございます。該当の方はご出席下さい

例会記録

会員総数 44名 出席会員数 35名
ゲスト 1名 その他 1名
ビジター 7名 事務局 2名
海外ビジター 0名 出席率 80.25%

10月10日 Make-up後の出席率
82.45%

【今週のMU状況】

若林会員(11/12 東江戸川RC)
吉田・若林会員(11/13 北分区分IM)
佐藤・荒川・乳井・内田・若林会員
(11/14 地区研修会)

ニコニコボックス

萱森由美様(東京セントラルパークRC)
小林G補佐を含め7名で訪問しました。
IM宜しく願い致します。
若林会員:IM楽しく行きます。
皆様、いらしてください。
佐藤会員:25日のIM宜しく願い致します。
齊藤会員:しばらくお休み頂き、すみませんでした。
保科会員:10/28 健康管理委員会主催の「カラオケを楽しむ会」に10名のメンバーの皆様にご参加いただき、楽しいひと時をありがとうございました。
結婚記念日:金田会員(10/2)飯嶋会員(10/10)
須藤会員(11/14)後藤会員(11/23)
夫人誕生日:浅野会員(11/21)

次回予告

11月25日(月) 15:00～
中央分区分
インターシティーミーティング
@H・ニューオータニ「芙蓉の間」
「ロータリーと東京2020
オリンピック・パラリンピック」

当クラブ主催です。13時に集合
昼食にお弁当を用意しております。
お手伝いを宜しく願い致します。



ガバナー公式訪問記念講演:「奉仕の実践/平和で明るい未来」

RI2580 地区ガバナー 新本博司氏(10/10 卓話)



皆さんがロータリーに入った動機はいろいろあると思いますが、入会して活動する中で、ロータリーとは本当はどういう組織なのだろうと考えると思うのです。結論から言うと、ロータリーは他の組織と違う点があります。

それは、性別や国籍、宗教に関係なく入れることです。こういう組織は他にはないと思います。

以前、マンハッタンのホテルに泊まったとき、ロータリーの例会をやっていたので中に入って見たら、みんながバッジを見て拍手で迎えてくれました。それは、私がどういう人なのかに関係なく、ロータリーは信頼のおける人が活動しているので、バッジを見ればどういう職業か聞かなくても、同じ志を持った信頼のできる人だと判断できたからです。一度会うだけで人生を変えるようなつながりが生まれる環境を、ロータリーは元々持っています。

ロータリーは、誰かのために行動することを目的としています。人を幸せにすることを考えることが、結果的に自分の企業を守るということがロータリーの基本だと考えると、適当にやっていたら相手も適当になりますから、自分が捧げたことがはね返ってくるわけです。「超私の奉仕」というロータリーの考え方は、まさにそこを突いているのです。

今年のマローニー会長のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」ですが、われわれは地球上の一員である以上、全員が手をつないでいかなければなりません。そう考えると、他の組織にはない「手をつなぐ」ことの意味が現実味を帯びます。紛争は相手を理解しないから起こるのであり、国民が自国の利益だけを追求していたら、紛争は必ず起きます。

ポール・ハリスもロータリーをつくった当初から、業種の異なる人々が親睦を深め、心を通じ合わせようという思いを持っていました。しかし、シカゴの街の人々から「ロータリーは自分たちさえ良ければいい組織なのか」という評判が立ったため、何かいいことをしようということで街の公園にトイレを二つ造りました。すると、ロータリーはこんなに素晴らしいことができるのだということで、全米にロータリーの思想を広める機運が生まれ、114年たった現在も他に例を見ない隆盛を極めているのです。

そう考えると、われわれは権利だけをむさぼっているわけにはいきません。ロータリアンとして良いことをしてくれているからこの企業は存続しているのだと周囲が認めるからこそ、堂々とバッジを着けて街を歩くことができるのです。従って、それに恥じないためには、奉仕の実践が不可欠だと思います。

同時に、マローニー会長は国連と提携して平和問題を考える方針を打ち出しています。ロータリーのプロジェクトは、全て紛争を解決するためのものです。家庭が幸せになることで地域社会が幸せになり、国が幸せになっていくのです。ロータリアンが集まれるのは地域や家庭の協力があってこそですから、今度は地域や家庭にお返しをし、企業がますます輝いて信頼されることで、永続性を持つわけです。

奉仕の実践は、誰かにやってあげるという発想ではありません。人を幸せにすることが自分の幸せに結び付く考え方です。ですから、まず家族を大事にし、家族の協力を得て、家族を引き込んで一緒に楽しむことが奉仕の実践につながります。

日本のロータリーは来年 100 周年を迎えます。そこでぜひクラブの中で、自分たちのクラブは何のために、誰のために存在しているか議論してほしいと思います。全て自分のためなのです。地域を素晴らしいところにするので、自分が安心して住めると同時に、地域に人が集まってきます。そうしないと自らの職業が成り立ちません。来年は東京オリンピックですが、観光客が「麹町はいい所だね」と言ってくれたら素晴らしいことだと思います。

そして、今の自分があるのは地域社会が認めてくれたからであり、今度は地域にお返ししようと考えたときに、ロータリーは不滅だと思います。人のためにしたことが自分のためになるという信念で突き進みたいと、私は自分に言い聞かせているところです。

東京麹町ロータリークラブ

設立	1968年6月17日	〒102-0093
例会日	月曜日 12:30	千代田区平河町 1-3-8
例会場	ホテル・ニューオータニ	平河町プラザ 204号
		TEL:03-3263-9220
会長	佐藤 茂	FAX:03-3263-9122
幹事	荒川 和幸	e-mail office@koujimachi-rc.jp
会報委員長	植芝 守央	URL : www.koujimachi-rc.jp